

## 平成 30 年度霧ヶ峰における電気柵等の設置（案）

## 1 設置

霧ヶ峰においてニッコウキスゲなどの高山植物をニホンジカから守るため、霧ヶ峰自然環境保全協議会構成団体において次のとおり電気柵等を設置します。

| 設置場所          | 設置時期<br>(予定)                                       | 概要   | 実施主体等                                     |
|---------------|--|--|---|
| ① インターチェンジ前園地 | 平成 30 年 5 月上旬                                      | 電気柵 約 2.0 k m  | 下桑原牧野農業協同組合                               |
| ② 忘れじの丘       | 平成 30 年 5 月上旬                                      | 電気柵 約 0.6 k m  | 下桑原牧野農業協同組合                               |
| ③ 車山地区        | 平成 30 年 5 月中下旬                                     | 電気柵 約 4.6 k m  | 車山高原観光協会                                  |
| ④ 車山肩地区       | 平成 30 年 5 月中旬<br>(5 月第 3 週設置予定)<br>(10 月第 2 週撤去予定) | 防護ネット<br>約 0.46 k m<br>電気柵 約 2.1 k m                               | 霧ヶ峰自然環境保全協議会<br>電気柵のうち 0.4 k m は丈の低い二重電気柵 |
| ⑤ 富士見台西側      | 平成 30 年 5 月中旬<br>(5 月第 3 週設置予定)<br>(9 月第 5 週撤去予定)  | 電気柵 約 0.8 k m  | 霧ヶ峰自然環境保全協議会                              |
| ⑥ 八島ヶ原湿原      | 常設   | 鋼鉄柵 約 4.0 k m  | 霧ヶ峰自然環境保全協議会                              |
| 計             |  | 電気柵 約 10.1 k m<br>ネット 約 0.46 k m<br>鋼鉄柵 約 4.0 k m<br>計 約 14.56 k m |   |

## 2 平成 29 年度の効果

電気柵設置場所においては、ニッコウキスゲ等が開花しており、ニホンジカの食害等を防除する効果が確認された。

車山肩地区の一部では、丈の低い二重柵を継続して設置し、観光客の写真撮影等に配慮した。

八島ヶ原湿原に設置したシカ柵は昨年度の降雪量が少なかったため、大規模な補修の必要はなく被害防止効果は継続している。

## 3 課題

ニホンジカの個体数が一定程度減少するまでは、継続して電気柵等を設置し、さらに範囲を拡大する必要があるが、これまで以上の資材費の確保や設置・メンテナンス等に係る労働力の確保は難しい。

八島ヶ原湿原以外の電気柵等については、これまで春先に設置し、秋頃撤去しているが、多くの人手を要しているため、一部設置場所において、支柱の常設を試行する。

